

令和 3 年度みえ森と緑の県民税基金事業の評価結果

目 次

- (1) 評価の種類とその内容及び点数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 事前評価における評価視点毎の評価点及び評価別事業数・・・・ 1
- (3) 事業別事前評価の集計結果一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (4) みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業の
対策区分別事前評価集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (5) 市町別総合評価の事前評価集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

1. 令和3年度みえ森と緑の県民税 事前評価の集計結果

(1) 評価の種類とその内容及び点数

評価委員の評価と内容

内 容	評価
取組が特に優れている	4
取組が妥当である	3
取組は妥当であるが さらに工夫が必要である	2
現状の取組に 改善が必要である	1

評価委員会の評価と内容

平均値による 評価基準		内 容
$3.5 \leq X \leq 4.0$	A	取組が特に優れている
$2.9 \leq X < 3.5$	B	取組が妥当である
$1.9 \leq X < 2.9$	C	取組は妥当であるが さらに工夫が必要である
$1.0 \leq X < 1.9$	D	現状の取組に改善が必要である

判定の集計方法

- 10名の委員の判定(点数)を合計し、平均値をとります。
- 平均値(右上表)により、判定(A~D)を決定します。

(2) 事前評価における評価視点毎の評価点及び評価別事業数

評価	評価点 (点)	事業数(事業)			
		有効性	効率性	公益性	情報発信度
A	4.0	3 (0)			
	3.9	0 (1)			
	3.8	2 (0)			
	3.7	7 (1)		2 (0)	2 (1)
	3.6	0 (3)			
	3.5	10 (10)	4 (0)	2 (0)	0 (1)
	A評価計	22 (15)	4 (0)	4 (0)	2 (2)
B	3.4	0 (18)	0 (3)	0 (6)	0 (6)
	3.3	65 (30)	30 (10)	56 (17)	37 (4)
	3.2	0 (37)	0 (61)	0 (67)	0 (23)
	3.1	0 (11)	0 (28)	1 (23)	0 (26)
	3.0	44 (7)	81 (13)	62 (6)	65 (24)
	2.9	0 (2)	0 (4)	0 (1)	1 (13)
	B評価計	109 (105)	111 (119)	119 (120)	103 (96)
C	2.8	1 (0)	7 (1)	1 (0)	17 (10)
	2.7	3 (0)	13 (0)	9 (0)	11 (5)
	2.6				0 (6)
	2.5				0 (1)
	2.4				
	2.3			2 (0)	2 (0)
	C評価計	4 (0)	20 (1)	12 (0)	30 (22)
事業数計		135 (120)	135 (120)	135 (120)	135 (120)

※ () 内は、令和2年度事業の評価別事業数

(3) 事業別事前評価の集計結果一覧

事業名		有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	みえ森と緑の県民税基金積立事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.9	B
2-ア	災害緩衝林整備事業	3.3	B	3	B	3.3	B	3.3	B
2-イ	土砂・流木緊急除去事業	3.3	B↓	3	B	3.3	B	3.3	B
3	森林情報基盤整備事業	3.3	B	3	B	3.3	B	3.3	B
4-ア	森林教育体制整備事業	3.3	B	2.8	C↓	3.3	B	2.8	C↓
4-イ	みえ森づくりサポートセンター運営事業	3.3	B	2.8	C↓	3.3	B	2.8	C↓
4-ウ	森林教育施設整備事業	3.0	B	3.0	B	3	B	2.8	C↓
5	生物多様性推進事業	3.0	B	2.7	C↓	3.0	B	2.7	C↓
6	森林とふれあう自然公園環境整備事業	3.0	B	3.3	B	2.7	C↓	3.0	B
7-ア-a	流域防災機能強化対策事業	3.3	B↓	3.0	B	3.3	B	3.3	B
7-ア-b	森林再生力強化対策事業	3.3	B↓	3.0	B	3.3	B	3.3	B
7-イ-a	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B↓	3.0	B	3.3	B	3.0	B
7-ウ	みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業	3.2	B	3.1	B	3.1	B	3.0	B
8	みえ森と緑の県民税制度運営事業	3.3	B	3.1	B	3.1	B	3.0	B

※↑は、昨年度から評価が上がった事業を、↓は、昨年度から評価が下がった事業を示しています。

- ・再評価の結果、評価点に変更となった事業：2事業
 - みえ森と緑の県民税制度運営事業
 - 効率性(事前評価) 3.0点 → (再評価) 3.1点
 - 菰野町：菰野富士ふるさとの山環境整備事業
 - 効率性(事前評価) 3.0点 → (再評価) 2.7点
- ・再評価の結果、評価に変更となった事業：なし
 - 菰野町：菰野富士ふるさとの山環境整備事業
 - 効率性(事前評価) B → (再評価) C

(4) 令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業対策区分別事前評価の集計結果

みえ森と緑の県民税 対策区分1：土砂や流木による被害を出さない森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
津市	津市林地残材搬出促進事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.8	C
大紀町	溪流倒木等処理事業	3.5	A	3.3	B	3	B	2.8	C
紀北町	河川周辺森林立枯木整備事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B

みえ森と緑の県民税 対策区分2：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	小学校支障木伐採業務委託	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
四日市市	中学校支障木伐採業務委託	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
四日市市	都市公園危険木処理事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
四日市市	里山・竹林環境保全支援事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
四日市市	危険木等除去支援事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
四日市市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
桑名市	里山再生・竹林整備推進事業	4.0	A	3.0	B	3.3	B	3.3	B
鈴鹿市	暮らしを守る森林保全事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
鈴鹿市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
亀山市	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
亀山市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
いなべ市	危険木の除去事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.3	B
いなべ市	危険木の除去事業（主要道路）	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
いなべ市	鳥獣害につよい森林整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B

みえ森と緑の県民税 対策区分2：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
木曾岬町	暮らしを守る緑保全事業	3.0	B	3.0	B	3	B	3.0	B
東員町	危険木伐倒等業務	3.0	B	3.0	B	3	B	3.3	B
菰野町	病虫害被害木伐採搬出事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
菰野町	危険樹木伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
津市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	2.8	C
松阪市	里山の森林安全安心対策事業	3.0	B	2.7	C	3	B	3.0	B
松阪市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3	B	2.7	C
多気町	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3	B	2.3	C
明和町	松林整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
大台町	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3	B	3.0	B
大台町	集落周辺等危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3	B	3.0	B
伊勢市	森林整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.8	C
鳥羽市	危険木伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
鳥羽市	森林病虫害防除樹幹注入業務委託	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
志摩市	災害に強い森林づくり事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C
志摩市	松くい虫防除事業	3.3	B	3.3	B	2.8	C	2.8	C
度会町	危険木伐採事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
度会町	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
大紀町	生活環境林整備事業	3.5	A	3.3	B	3.0	B	2.8	C

みえ森と緑の県民税 対策区分2：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
南伊勢町	危険木除去事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
名張市	危険木伐採事業	3.0	B	3.3	B	3	B	3.0	B
名張市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	3.3	B	3	B	3.3	B
名張市	人家裏危険木伐採事業	3.0	B	3.3	B	3	B	3.3	B
名張市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3	B	3.0	B
伊賀市	みんなの里山整備活動推進事業	3.3	B	3.0	B	3	B	3.0	B
伊賀市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	2.7	C	2.7	C	3.0	B
尾鷲市	人家裏危険木伐採事業	3.3	B	3.5	A	3.3	B	3.0	B
尾鷲市	野路町駅前児童公園ほか整備事業	3.3	B	3.0	B	3	B	3.0	B
紀北町	危険木伐採事業	3.5	A	3.5	A	3.3	B	3.3	B
紀北町	集落周辺森林（里山）整備事業	3.5	A	3.5	A	3.3	B	3.3	B
熊野市	森林病虫害等防除実施事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
熊野市	暮らしを守る危険木伐採事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	3.0	B
紀宝町	生活環境林整備事業	3.0	B	3.0	B	3	B	3.0	B

みえ森と緑の県民税 対策区分3：森を育む人づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
鈴鹿市	森林環境教育支援事業	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.7	A
鈴鹿市	国体スタッフ木製記念品配布事業	3.0	B	3.0	B	3	B	3.0	B
鈴鹿市	森と緑の生涯学習事業	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.0	B
亀山市	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	4.0	A	3.0	B	3.0	B	3.0	B
いなべ市	中学校卒業記念品配布事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
いなべ市	森林環境教育支援事業	3.7	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
朝日町	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	4.0	A	3.0	B	3.7	A	3.7	A
川越町	川越北小学校自然教室	3.0	B	2.8	C	3.0	B	3.0	B
川越町	川越南小学校自然教室	3.0	B	2.8	C	3.0	B	3.0	B
津市	津市森林環境教育事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
津市	美里水源の森「林業体験」事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C
松阪市	森林環境学習事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
松阪市	松阪の木魅力発信活動事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
大台町	森林環境教育事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C

みえ森と緑の県民税 対策区分3：森を育む人づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
伊勢市	三重とこわか国体おもてなし事業	3.0	B	3.0	B	3	B	2.8	C
志摩市	森と緑ふれあい事業	3.0	B	3.0	B	3	B	2.8	C
玉城町	森林環境教育・木育事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
度会町	森林環境教育推進事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
南伊勢町	森林環境教育事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
名張市	森林環境教育推進事業	3.0	B	3.3	B	2.7	C	3.3	B
伊賀市	親子ではじめる木育推進事業	3.3	B	3.0	B	3	B	3.3	B
伊賀市	伊賀の森っこ育成推進事業	3.7	A	3.0	B	3	B	3.3	B
伊賀市	地域の森と緑のつながり支援事業	3.0	B	2.7	C	2.3	C	2.7	C
伊賀市	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	3.0	B	3.0	B	2.7	C	2.7	C
尾鷲市	木とふれあう学校環境づくり事業	3.8	A	3.5	A	3.3	B	2.8	C
紀北町	森林環境教育活動支援事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
熊野市	クマノザクラ整備・保全管理等事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B

みえ森と緑の県民税 対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	認定こども園備品整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
四日市市	木とふれあう環境づくり事業（少年自然の家管理運営費）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
四日市市	木とふれあう環境づくり事業（市民活動センター運営費）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
桑名市	学校の森 再生事業	3.7	A	3.0	B	2.7	C	3.0	B
鈴鹿市	馬場公園木製休憩所設置事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
鈴鹿市	図書館木製備品購入事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
鈴鹿市	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
亀山市	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.3	B
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	3.3	B	2.7	C	3.0	B	3.3	B
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（JR加太駅舎改修）	3.3	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
東員町	教育施設の備品等購入	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
東員町	公園施設の備品等購入	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
朝日町	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	2.7	C	3.0	B	3.0	B	3.0	B
朝日町	森と緑を大切に思う人づくり事業（教育文化施設）	3.0	B	3.0	B	2.7	C	3.3	B
川越町	川越南小学校図書室机・椅子整備事業	2.8	C	2.8	C	3.5	A	3.0	B
川越町	総合センター椅子整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C
松阪市	保育園木育推進事業	3.0	B	3.0	B	2.7	C	2.7	C
多気町	木とふれあう環境づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C

みえ森と緑の県民税 対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
志摩市	観光農園木製品購入	3.3	B	2.8	C	3.0	B	2.8	C
玉城町	公共施設整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
度会町	県産材を活用した木製備品整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
名張市	学校林整備事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
御浜町	道の駅等木製看板設置事業	2.7	C	2.7	C	3.0	B	2.7	C
御浜町	中央公民館木質化事業	3.0	B	3.0	B	2.3	C	3.0	B
紀宝町	放課後児童クラブ施設木製品購入事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

みえ森と緑の県民税 対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
桑名市	播磨2号緑地里山整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
鈴鹿市	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
鈴鹿市	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
鈴鹿市	ホテルの里森林及び生物観察用橋設置事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
菰野町	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	2.7	C	2.7	C	3.3	B	3.3	B
松阪市	都市公園整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
松阪市	松浦武四郎記念館木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
明和町	木質構造物整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
志摩市	創造の森横山遊歩道整備事業	3.0	B	2.8	C	3.0	B	2.8	C
度会町	森と人が共存する環境づくり事業	3.8	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B

みえ森と緑の県民税 対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
南伊勢町	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
名張市	森林公園等環境活用整備事業	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.0	B
名張市	桜並木保全管理事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	3.0	B
名張市	無形民俗文化財保全事業	3.3	B	2.7	C	2.7	C	2.7	C
尾鷲市	野鳥の小径遊歩道等整備事業	3.0	B	3.0	B	3.5	A	3.0	B
尾鷲市	中村山公園整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
熊野市	森とふれあいの場拠点づくり事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
熊野市	景勝林等保護事業	3.7	A	3.0	B	3.3	B	3.0	B
御浜町	森林公園等環境整備事業	3.0	B	3.0	B	2.7	C	3.0	B
紀宝町	クマノザクラ整備事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

市町別総合評価の評価集計結果

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

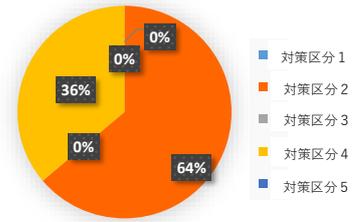
市町名	四日市市	三重県
人口(人)	310,019	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.4%	12.4%
森林面積(ha)	2,865.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	2,497.56	348,833.49
森林率(%)	13.8%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	10.2	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	小学校支障木伐採 業務委託	3,261,500	3,261,500		3,261,500				
2	2	中学校支障木伐採 業務委託	4,286,700	4,286,700		4,286,700				
3	4	認定こども園備品整備事業	5,720,000	5,720,000				5,720,000		
4	4	少年自然の家管理運営事業	1,804,000	1,804,000				1,804,000		
5	2	都市公園危険木処理事業	4,453,900	4,453,900		4,453,900				
6	4	市民活動センター運営事業	869,000	869,000				869,000		
7	2	里山・竹林環境保全支援事業	1,721,042	1,145,000		1,145,000				
8	2	危険木等除去支援事業	396,000	100,000		100,000				
9	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	6,245,800	1,561,450		1,561,450				
計			28,757,942	23,201,550	0	14,808,550	0	8,393,000	0	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針 <p>本市は、東側に伊勢湾、西側に鈴鹿山脈に接し伊勢湾沿いには石油化学工業等の発達した中核都市です。四日市市総合計画の基本構想で「環境・防災先進都市」を将来都市像の一つに位置付けており、公害の歴史と教訓から、豊かな環境を基本とした都市整備と、防災力強化を両軸に、快適性と安全・安心が高い水準で保たれたまちづくりを目指しています。</p> <p>みえ森と緑の県民税市町交付金を活用することにより、都市公園や地域の里山や竹林を整備し、緑にふれあう環境を整えるとともに、公共施設等での県産材の利用を進めることにより、森への関心、木材利用の意義への理解を深め、緑を身近に感じ大切にしていける社会づくりを推進します。</p>
事業実施により期待される効果 <p>森林整備や危険木除去を行ったことにより、地域住民の生活の安全性が確保されたとともに、整備された場所は子供の遊び場としても利用され、子供が森林にふれあう場を作ることができた。</p> <p>木製備品を導入したことにより、施設利用者に森林や木材について学び、ふれあう場を提供することができた。</p>
情報発信への取組 <p>みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図るため、ホームページへの掲載と、導入した木製備品へのロゴマークの焼き印をつけた。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・全体的に有効に活用されていると認めます。学校の危険木除去等の情報発信については、単に危険が除去されたというだけでなく、森林の適正な維持管理の重要性や保全について、HRなどで取り上げるなどの取り組みが有効かと思えます。木製品の購入等についても、森林の適正な維持管理の重要性や保全に関連付けて情報発信していただければと感じます。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	小学校支障木伐採 業務委託	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	2	中学校支障木伐採 業務委託	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
3	4	認定こども園備品 整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
4	4	少年自然の家 管理運営事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
5	2	都市公園危険木 処理事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
6	4	市民活動センター 運営事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
7	2	里山・竹林環境保全支援事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
8	2	危険木等除去支援事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
9	2	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (「三重県市町要覧(令和3年度版)」「令和2年度森林・林業統計書」より)

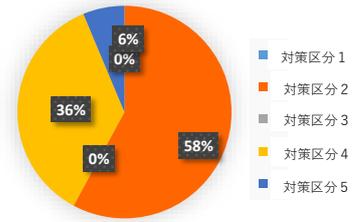
市町名	桑名市	三重県
人口(人)	138,976	1,771,855
年少人口割合(%) * 1	13.1%	12.2%
森林面積(ha)	2,960.03	372,119.91
民有林面積(ha) * 2	2,871.36	348,600.78
森林率(%)	22.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	9.2	10.4

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	5	播磨2号緑地里山整備事業	534,000	534,000					534,000	
2	2	里山再生・竹林整備推進事業	4,931,000	4,931,000		4,931,000				
3	4	学校の森 再生事業	3,055,000	3,055,000				3,055,000		
4	4	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	5,113,000	0						5,113,000
計			13,633,000	8,520,000	0	4,931,000	0	3,055,000	534,000	5,113,000

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市は木曾三川の河口部に位置し、森林率は約22%と、県平均と比較すると低い値となっている。林業活動はほとんど実施されていないが、一方で古くからタケノコ生産が盛んであり、市内各地に竹林が存在している。しかし、近年は地域の森林への関心が低下し、十分な手入れが行き届かず、荒廃した里山や竹林が増加傾向にある。このため本市では、みえ森と緑の県民税を活用し、市民団体と連携して身近な里山や竹林を整備する活動を通じて「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進に取り組む。
事業実施により期待される効果	里山や竹林の整備に関わり、また整備された里山や竹林に触れることにより得られる癒しの効果を通して、人々の暮らしと森林環境との関わりに対する理解が深まった。
情報発信への取組	現場での看板設置や、ポスター配置・チラシ・ホームページでの活動紹介など、事業活用の現場であること、県産材の活用であることを重点的にアピールし情報共有を推進した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・森林面積が少ない中で、自然環境保全などを中心に全体的に適正に実施されていると認めます。竹林整備において高校と連携して活動されていることは評価できます。小学校のピオトープ整備においては、森林との関連性を重点に学習を考えていただければと思います。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	5	播磨2号緑地里山整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
2	2	里山再生・竹林整備推進事業	4.0	A	3.0	B	3.3	B	3.3	B
3	4	学校の森 再生事業	3.7	A	3.0	B	2.7	C	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

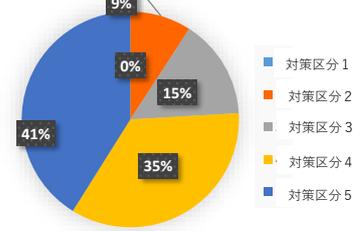
市町名	鈴鹿市	三重県
人口(人)	195,789	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.9%	12.4%
森林面積(ha)	3,584.17	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	3,408.37	348,833.49
森林率(%)	18.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	9.8	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	暮らしを守る森林保全事業	596,200	596,200		596,200				
2	3	森林環境教育支援事業	100,000	100,000			100,000			
3	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	2,948,000	737,000		737,000				
4	5	ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業	4,374,000	3,278,000					3,278,000	
5	5	緑と人を育む 長太の大楠再生プロジェクト	722,000	722,000					722,000	
6	3	国体スタッフ木製記念品配布事業	1,309,000	1,309,000			1,309,000			
7	4	馬場公園木製休憩所設置事業	2,420,000	2,000,000				2,000,000		
8	5	ほたるの里森林及び生物観察用橋設置事業	2,500,000	2,000,000					2,000,000	
9	3	森と緑の生涯学習事業	770,000	770,000			770,000			
10	4	図書館木製備品購入事業	877,800	877,800				877,800		
11	4	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置事業	2,200,000	2,200,000				2,200,000		
12		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	2,323,000	2,323,000						2,323,000
計			21,140,000	16,913,000	0	1,333,200	2,179,000	5,077,800	6,000,000	2,323,000

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	6本	2,948,000	737,000	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>本市は、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈があり、市の中央には鈴鹿川が流れる、豊かな自然環境の下で発展してきた都市です。この恵まれた自然環境は、市民生活や経済活動に多大な恩恵をもたらしており、美しい風景や豊かな生態系は、本市にとって貴重な財産であるともいえます。</p> <p>このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、市民に親しまれている海岸林の保全や、利用頻度の高い公共施設等への県産材利用を通じ、多くの市民が森林の恩恵を享受することができ、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進する事業を進めています。</p>
事業実施により期待される効果
<p>生涯学習事業は、地域が主体となり小学生を中心とした子どもと保護者に対し様々な趣向を凝らした森林学習を行っており、参加者のアンケート等からも大変好評をいただいている事業であり、森林環境教育への理解を深めることができた。新型コロナウイルス感染症の拡大によりイベントは中止となったが、県産材を活用した備品整備によって、未就学児や児童・生徒を始めとする様々な市民の方が、森林や木材について学び、ふれあい、関係を深めることができた。</p> <p>今年度、初めて実施した災害からライフラインを守る事前伐採事業は、台風等による倒木により停電を起こす可能性がある危険木を事前に伐採することで、地域住民の安心・安全の確保につながった。</p>
情報発信への取組
<p>事業の実施前においては、市広報やHP、SNS等を活用し、みえ森と緑の県民税の活用について周知を図った。また、本事業に関する竣工式やイベント等の主催者挨拶では、みえ森と緑の県民税活用事業であることを周知し、可能な限り市政記者クラブへの情報提供も行った。</p> <p>事業実施の際は、県民税リーフレットの配布や県民税旗を掲出するなど、周知に努めた。</p> <p>また、県民税の県内での活用事例紹介や森林のもつ多様性についての紹介展示を市民ギャラリーにて実施し、来庁者への情報発信を行った。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
<p>・木製品の購入等については、単に県民税を活用しているだけではなく、森林の適正な維持管理の重要性や保全に関連付けて情報発信していただければと感じます。</p>

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	暮らしを守る森林保全事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
2	3	森林環境教育支援事業	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.7	A
3	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
4	5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
5	5	緑と人を育む 長太の大楠再生プロジェクト	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
6	3	国体スタッフ木製記念品配布事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
7	4	馬場公園木製休憩所設置事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
8	5	ほたるの里森林及び生物観察用橋設置事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
9	3	森と緑の生涯学習事業	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.0	B
10	4	図書館木製備品購入事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
11	4	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

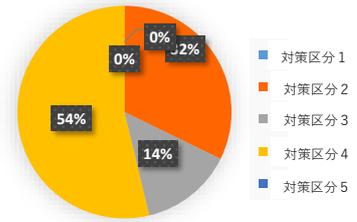
市町名	亀山市	三重県
人口(人)	49,950	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	13.8%	12.4%
森林面積(ha)	12,034.48	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	11,680.86	348,833.49
森林率(%)	63.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	13.1	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	集落周辺の森林整備事業(危険木等の伐採)	2,165,884	2,000,000		2,000,000				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,221,000	305,250		305,250				
3	3	森と木材のふれあい事業(森林づくり協議会)	1,396,130	1,000,000			1,000,000			
4	4	森と木材のふれあい事業(木とふれあう)	1,480,050	1,480,050				1,480,050		
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業(森林公園やまびこ)	1,398,583	1,356,700				1,356,700		
6	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業(R加太駅舎改修)	1,049,400	1,000,000				1,000,000		
7		みえ森と緑の県民税基金積立	4,000,000	4,000,000						4,000,000
計			12,711,047	11,142,000	0	2,305,250	1,000,000	3,836,750	0	4,000,000

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.0601ha	1,221,000	305,250	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採(伐採内訳: スギ・ヒノキ52本、その他広葉樹8本)

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p>事業方針</p> <p>本市は、北勢地域随一の林業地帯として古くからスギ・ヒノキを主とした人工林の整備が進められ、良質な木材の生産・供給が行われてきました。しかし、林業を取り巻く情勢は厳しく、採算性の悪化、高齢化等による担い手不足のため、放置される森林が増加したことで森林の機能低下が進んでいます。このため、既存の財源を活用し、林業生産活動の支援や地域材を活用した商品を「亀山ブランド」として認定することで森林整備や地域材の利用促進に取り組んでいます。今後も、森林の有する様々な働きを発揮させるための森林整備や地域材の利用を促進するためには、市民の森林に対する理解と関心を深めることが大切です。このことから、県民税を活用し、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることや、暮らしに身近な森林を整備を進め、地域の生活環境の向上を図ります。</p>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p>様々な事業に取り組み、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることで市民の森林に対する理解と関心が深まるとともに、地域の危険木やライフラインが寸断される恐れのある樹木を伐採することで市民の暮らしの安全・安心に大きく寄与できる。協議会がコロナ禍の中、工夫を凝らしイベントを開催することで幅広い年代の市民に森林とふれあう場を提供できる。更に、保育園・認定こども園で木育教室を開催することで園児たちに木材にふれる機会が作れ、豊かな心が育まれる。森林公園やまびこの施設整備等を行うことで、子どもから大人まで安全・安心して施設を利用することができること、森林や木にふれあう場や緑に親しむ環境を提供できる。</p>
<p>情報発信への取組</p> <p>市ホームページに事業実施結果を掲載。イベント開催時にパンフレットや啓発物品を配付。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・全体的に有効に活用されていると認めます。「森を育む人づくり」では、総合的な取り組みをされており、事業の効果が期待できます。危険木除去等について、単に危険が除去されたというだけではなく、森林の適正な維持管理の重要性や保全についての情報も発信するべきと感じます。木製品の購入等については、単に県民税を活用しているだけではなく、森林の適正な維持管理の重要性や保全に関連付けて情報発信していただければと感じます。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	集落周辺の森林整備事業（危険木等の伐採）	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
3	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	4.0	A	3.0	B	3.0	B	3.0	B
4	4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.3	B
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	3.3	B	2.7	C	3.0	B	3.3	B
6	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（JR加太駅舎改修）	3.3	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

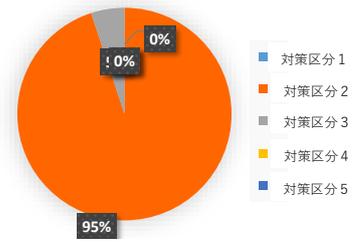
市町名	いなべ市	三重県
人口 (人)	44,763	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	12.3%	12.4%
森林面積 (ha)	12,808.21	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	11,738.79	348,833.49
森林率 (%)	58.3%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	8.1	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	3	中学校卒業記念品配布事業	917,950	917,950			917,950			
2	2	危険木の除去事業	5,283,850	5,283,850		5,283,850				
3	2	危険木の除去事業 (主要道路)	20,396,200	11,336,270		11,336,270				
4	3	森林環境教育支援事業	101,141	101,141			101,141			
5	2	鳥獣害につよい森林整備事業	2,592,700	2,592,700		2,592,700				
計			29,291,841	20,231,911	0	19,212,820	1,019,091	0	0	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	いなべ市は北部と西部を岐阜県と滋賀県に接し、東部と南部は桑名及び四日市圏域に接している。市域は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈をいだし、市のほぼ中央に流れる員弁川を挟んで緑豊かな自然と平野に囲まれている。 緑豊かないなべ市でみえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、木のぬくもりに触れる機会を作り、身近な森林について目を向けてもらい、森林・木材の意義、大切さを再認識してもらおう。また豊富な森林資源を活用し、自然と調和した環境づくりを目指し、整備が進んでいない森林を整備することにより、安心・安全な暮らしを確保する。
事業実施により期待される効果	間伐材を活用した箸の配布を行うことで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことができ、将来的に持続可能な素材を選べる人づくりに繋がることが期待される。また、住民自らが危険木除去を行うことで、身近な危険木の認識とその除去についての意識向上につながった。
情報発信への取組	市HPにおいて、みえ森と緑の県民税の概要を伝えるとともに、本事業の事業効果を写真と共にわかりやすくPRしている。中学校卒業記念品配布事業では、生徒にメッセージカードを配布し、県産材を利用する大切さを伝えている。鳥獣害につよい森林整備事業では、施業箇所の道路沿いに県民税PR標識を設置し、不特定多数の道路利用者に「災害に強い森林づくり」を行っていることを伝えている。また、コミュニティFMによりみえ森と緑の県民税を活用したいいなべ市での取組の紹介を行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・主要道路の危険木除去に多くの金額を使用しています。道路支障木（交通支障木）の除去が事業の対象となるか疑問です。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	中学校卒業記念品配布事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
2	2	危険木の除去事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.3	B
3	2	危険木の除去事業（主要道路）	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
4	3	森林環境教育支援事業	3.7	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
5	2	鳥獣害につよい森林整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

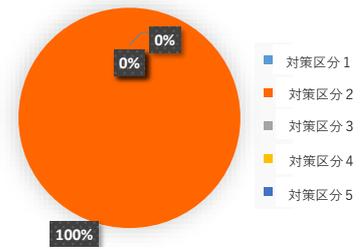
市町名	木曾岬町	三重県
人口(人)	6,151	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	9.7%	12.4%
森林面積(ha)	0	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	0	348,833.49
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	11.0	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	暮らしを守る緑保全事業	14,485,317	14,116,311		14,116,311				
計			14,485,317	14,116,311	0	14,116,311	0	0	0	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	木曾川の河口部に位置する当町は森林率が0%と、日常生活の中で森林にふれあう機会がなく町内の鍋田川線桜並木は、重要な観光資源であると同時に地域住民が緑にふれあい自然環境の大切さを知る貴重な場となっております。これらを踏まえ、鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの食害から守るため、防除業務や被害木の伐採を行って被害防止対策を実施しました。また、今年の森林環境教育は新型コロナウイルスの影響により中止となったため、WEB会議システムを活用した中学校同士の生徒同士の交流活動を実施し、お互いの行っている森林教育について伝え、意見交換を行った。
事業実施により期待される効果	鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの食害から守るため、全木を対象にした調査と台帳整備、樹幹注入を行いクビアカツヤカミキリの被害低減を行い、通行人への倒木等の危険防止により安全・安心につながるとともに、当町で唯一の森林に触れ合える場の保全を図りました。また、森林環境教育を実施し、木曾川の上流と下流の異なる自然環境とそれぞれの良さを学び、発信・交流する中で改めて地域の良さを感じ取り郷土への愛着を深める。また、木祖村の大自然を体験することで水の恵みを上流の森林から授かっていることを認識する機会を作る。(令和3年度は新型コロナウイルスの影響を勘案し、中止した。)
情報発信への取組	町広報誌への防除業務の内容と目的を掲載し、町民に対し県民税が安全や自然環境の保全に役立てられていることをPRしたほか、ポスター掲示や町HPでも同内容を紹介しより多くの人の目に留まるよう取り組んでいる。また、TVの行政チャンネルの中で防除業務の実施の様子や県民税が活用されていることをPRした。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

・森林のない地域として、緑の保全事業に絞って活動されているのは評価できます。今後は、緑保全事業の効果の検証や、木製品の導入による森林への関心を引くなどの事業展開を考えていかれてはどうかと考えます。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	暮らしを守る緑保全事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

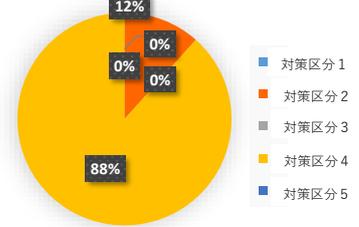
市町名	東員町	三重県
人口(人)	25,957	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	13.2	12.4
森林面積(ha)	177.13	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	177.13	348,833.49
森林率(%)	8.0	64.0
都市公園面積(m ² /人口) * 3	15.7	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	みえ森と緑の県民税市町交付金事業(危険木伐倒等業務)	1,327,700	1,309,000		1,309,000				
2	4	みえ森と緑の県民税市町交付金事業(教育施設の備品等購入)	6,652,800	6,652,000				6,652,000		
3	4	みえ森と緑の県民税市町交付金事業(公園施設の備品等購入)	3,316,500	3,316,000				3,316,000		
計			11,297,000	11,277,000	0	1,309,000	0	9,968,000	0	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>本町では、北部を中心に名古屋や四日市といった近郊都市部のベッドタウンとして開発が進み、現在森林率が8%程度と森林が少なく、また各地に分散している状況ですが、森林は地域住民の憩いの場として日常的に活用されてきました。</p> <p>このため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備を進め、地域住民が安全に安心して地域の里山にふれ、森や木の大切さへの理解を深める取組を進めていきます。</p> <p>また、教育施設及び公園施設において木質製品などを取り入れることにより、児童や地域住民が木に触れ合う機会を創出していきます。</p>
事業実施により期待される効果
<p>森林環境の保全及び地域住民の森林への意識の醸成が図られた。現地(民家裏等)での調査や作業の際、県民税や事業について詳細に説明する機会が多く、好意的な反応を示していただき、県民税への理解及び森林への関心を高めることができた。</p>
情報発信への取組
<p>工事看板に「みえ森と緑の県民税交付金事業」にて実施していることを表記。また、自治会での施工周知説明時に事業の概要についても説明。保育園、幼稚園の園だよりにおいて県民税を活用し導入したことを掲載。</p> <p>その他、町のHP・広報誌に事業の成果を掲載し、県民税を活用し事業を実施した旨を周知。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・危険木除去等について、単に危険が除去されたというだけでなく、森林の適正な維持管理の重要性や保全についての情報も発信するべきと感じます。木製品の購入等については、単に県民税を活用しているだけではなく、森林の適正な維持管理の重要性や保全に関連付けて情報発信していただければと感じます。</p> <p>・写真のような大型積木の高い積み方は地震時の危険性が大きい。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐倒等業務	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
2	4	教育施設の備品等購入	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
3	4	公園施設の備品等購入	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

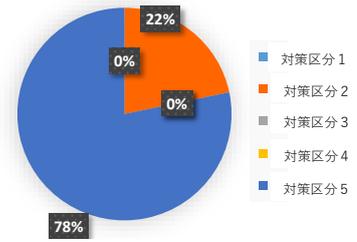
市町名	菟野町	三重県
人口(人)	40,335	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	13.9%	12.4%
森林面積(ha)	5,348.67	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	5,272.74	348,833.49
森林率(%)	50.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	4.3	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	2,291,520	1,103,000		1,103,000				
2	2	危険樹木伐採事業	982,085	245,522		245,522				
3	5	菟野富士ふるさとの山環境整備事業	4,862,000	4,862,000					4,862,000	
4	5	基金事業	2,558,478	2,558,478						2,558,478
計			10,694,083	8,769,000	0	1,348,522	0	0	4,862,000	2,558,478

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.08ha14本	982,085	245,521	菟野町小島地内において事前伐採14本(補償費含)

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	菟野町は、鈴鹿山脈の麓に位置する自然豊かな環境に恵まれた場所にあり、湯の山温泉や御在所ロープウェイなど、四季折々の自然を満喫できる観光スポットを有しており、多くの観光客が訪れます。このような中で、みえ森と緑の県民税を活用し、基本方針でもある「災害に強い森林づくり」の推進のため、病虫害や松枯れなど、倒木の恐れがある危険木の除去を進めることで、地域住民の安全な生活環境を守るとともに、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進のため、当町の森林資源を活用して地域住民や当町を訪れる人が地元の森林環境の魅力を感じ、自然環境保全の大切さや森林資源活用の意義について考え、学ぶ場の整備を進めます。
事業実施により期待される効果	公共の道路に倒木の可能性がある又はライフラインに支障を与える可能性がある危険木を事前伐採することにより、通行者に対する安全の確保及び電線断線の危険の排除ができ、また、病虫害による被害拡散を防止することで地域住民の安全な生活環境の保全に繋げている。 また菟野富士の遊歩道については、供用開始に伴い、多くの利用客に活用していただいております。菟野町の森林環境の魅力を感じ、事前環境保全の大切さを学ぶ貴重な場となっている。
情報発信への取組	伐採作業時はのぼり旗を使うことにより、みえ森と緑の県民税を使って作業していることを通行者にPRした。また、町のホームページで事業報告を行う。菟野富士の現場では、のぼり旗を常設することによりPRを行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・危険木除去等について、単に危険が除去されたというだけではなく、森林の適正な維持管理の重要性や保全についての情報も発信するべきと感じます。「孤野富士ふるさとの山環境整備事業」については、施工箇所を施工する必要性の説明が十分ではなく、工事費に対する事業効果にも疑問が残ることから、事業の取り組みに改善が必要です。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
2	2	危険樹木伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
3	5	孤野富士ふるさとの山環境整備事業	2.7	C	2.7	C	3.3	B	3.3	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

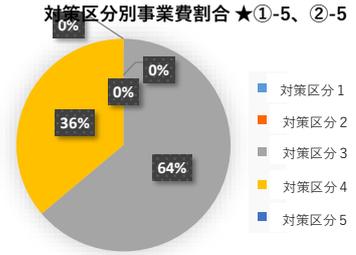
1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

市町名	朝日町	三重県
人口(人)	11,033	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	18.9%	12.4%
森林面積(ha)	63.21	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	63.21	348,833.49
森林率(%)	11.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	2.1	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森林環境教育事業(あさひ竹プロジェクト)	3,947,548	3,400,000			3,400,000			
2	4	森と緑とふれあう環境づくり事業(幼保一体化施設)	1,980,000	1,745,548				1,745,548		
3	4	森と緑を大切に思う人づくり事業(教育文化施設)	214,500	180,000				180,000		
4	2	里山再生整備事業(基金積立)	295,452	0						295,452
計			6,437,500	5,325,548	0	0	3,400,000	1,925,548	0	295,452

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>当町は三重県一小さい自治体であり、森林面積も約63haと狭く林業がビジネスとして成り立つことは困難な状況であるが、63haの25%に当たる約16haが竹林であり、竹林割合の高さでは県内一である。また、人口が増加し続け子どもが多い若い町であり年少人口(15歳未満人口)割合も日本一である。</p> <p>これらの特徴を踏まえ、町と町民により適正に管理された竹林・里山・緑地や、そこから生み出される生産物等を通じ、若年層や親子が森や緑と親しめる取り組みに県民税を活用することで、竹林・里山・緑地が地域の中で魅力を発揮している姿を目指す。</p> <p>その実現のため、幼児教育段階から緑に親しむ機会を創出する「森と緑とふれあう環境づくり事業(幼保一体化施設)」や、「森と緑を大切に思う人づくり事業(教育文化施設)」、あさひ竹プロジェクトの一環として竹を使った様々な体験・学びの場を創出する「森林環境教育事業」を実施した。また、将来における里山再生整備等に活用するため「里山再生整備事業(基金積立)」を実施した。</p>
事業実施により期待される効果	<p>幼児教育段階から緑に親しむ環境や竹を使った様々な体験・学びの場を創出する施策を実施することで、町民の緑や里山に関する関心が高まった。段階的に町民自身による自律的な竹林・里山整備に係る活動が持続的な活動へとつながることで、里山の安全性を高めるとともに、日常的に若年層や親子が森・緑と親しんでいる状態が期待できる。</p>
情報発信への取組	<p>町のHP、広報紙等を通じた一般的なPRを実施したほか、竹あかり関係の事業においては中日新聞等の記事として多数取り上げられた。また、来場者に対してQRコードを活用したアンケートを実施し、極めて良好なアンケート結果が得られたと同時に、多くの方にみえ森の存在を周知することができた。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・竹あかりプロジェクトに住民有志による団体設立の動きがあるとのこと、住民間交流に本税が活かされている点で有効かつ公益的な事例であると考えます。活動が育ち、情報発信も盛んになることを期待しています。</p>	
<p>・森林面積狭いながら主流占める竹林に着目し、地域住民も参加型の企画で街の活性化や子供たちへの教育効果も見られ、高く評価します。</p>	
<p>・森林が少なく、その中で竹林割合の多い朝日町の特徴のを把握し竹プロジェクトに力を入れていることがよくわかった。</p>	
<p>・コロナ禍の中、中止となった事業の中には興味深いものも多く残念だったが、今年度以降も期待したい。芝生化にも取り組みつつけているが、ブランコ直下の芝が痛みやすいのは必然であり、その張替えに予算を割いているが、今後も同様の劣化が考えられる為、全面を芝生張りにせず、ブランコ直下などは他の素材を検討した方がよいのではないか？</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	4.0	A	3.0	B	3.7	A	3.7	A
2	4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	2.7	C	3.0	B	3.0	B	3.0	B
3	4	森と緑を大切に思う人づくり事業（教育文化施設）	3.0	B	3.0	B	2.7	C	3.3	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

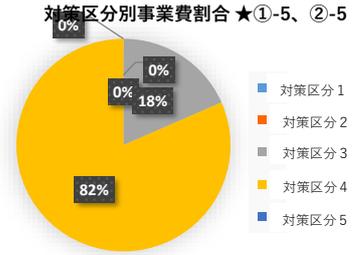
1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

市町名	川越町	三重県
人口(人)	15,283	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	14.3%	12.4%
森林面積(ha)	0.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	0.00	348,833.49
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	0.3	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	川越北小学校自然教室	801,464	575,000			575,000			
2	3	川越南小学校自然教室	443,524	335,000			335,000			
3	4	川越南小学校図書室机・椅子整備事業	3,839,000	3,760,000				3,760,000		
4	4	総合センター椅子整備事業	470,800	268,000				268,000		
5	4	川越町あいあいホール改修工事(基金積立)	10,073,000	10,073,000						10,073,000
計			15,627,788	15,011,000	0	0	910,000	4,028,000	0	10,073,000

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p>事業方針</p> <p>朝明川の河口に位置する当町は森林を有していない一方で、人口が増加傾向にあり年々人口割合も県平均を上回っています。このような中で、学校施設に木製備品を導入することで、子供たちが日常的に木に触れ森林について学ぶ場づくりを行うのと併せて、小学校における自然教室を通じて自然に触れ森の木の大切さや親しみの気持ちを持った人づくりを進めます。</p>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p>緑豊かな環境の中で、集団生活を通じ中学生活においての「仲間づくり」や「信頼関係」の土台を築き、自然と触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ機会を増加させることができる。また、県産材を使用することにより、三重県の森林や木材への関心を深めてもらい木の温もり、肌触りや香りを身近に感じてもらえ、木材利用に対する理解や関心が深まった。</p>
<p>情報発信への取組</p> <p>当町の公式サイトを利用して「令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を掲載し情報提供を行いました。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業4については、可能であれば、もう少し「面」で木材利用を実感できるような整備があると良い。 ・自然教室の中での森林教育の充実を図ってください。また、子どもたちの体験学習における気づき（森林に対する学び）を可視化してください。 ・自然教室での体験と各学校で机椅子を導入していることを連携していること、全体としての森林教育のプログラムを実施ください。 ・総合センターの椅子の話まで、子どもたちの学びがつながるとさらによいのではないのでしょうか。子どもたちから発信、町民への発信を充実してください。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	川越北小学校自然教室	3.0	B	2.8	C	3.0	B	3.0	B
2	3	川越南小学校自然教室	3.0	B	2.8	C	3.0	B	3.0	B
3	4	川越南小学校図書室机・椅子整備事業	2.8	C	2.8	C	3.5	A	3.0	B
4	4	総合センター椅子整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

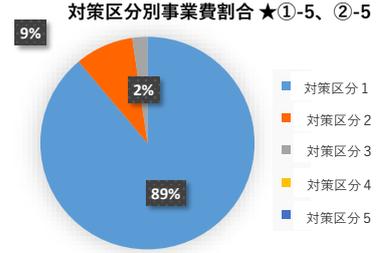
1. 基礎情報(令和3年度版三重県市町要覧及び令和2年度版森林・林業統計書による)

市町名	津市	三重県
人口(人)	273,638	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.3%	12.4%
森林面積(ha)	41,532.42	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	40,791.91	348,833.49
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	7.7	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1	津市林地残材搬出促進事業	28,614,600	28,594,536	28,594,536					
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	11,379,051	2,844,764		2,844,764				
3	3	津市森林環境教育事業	480,700	480,700			480,700			
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	255,900	250,000			250,000			
計			40,730,251	32,170,000	28,594,536	2,844,764	730,700	0	0	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	79.67ha	41,014,600	41,000,000	特定水源地域の森林の調整伐
森林再生力強化対策事業	5,527m	4,551,000	4,551,000	獣害防護柵設置
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採535本 植栽550本	11,379,051	2,844,762	ライフラインを寸断する恐れのある立木の伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>・本市の森林面積は、総面積711km²の58.4%にあたる415km²を占めており、人工林率は82%と古くからスギ、ヒノキの造林が盛んに行われている森林が多い。一方で、高速道路や鉄道、海上アクセスなど交通インフラ、大学や短期大学など高等教育機関、大学病院等の医療機関など県都として都市機能が集積されていることから、流域の上流のみならず、下流の市民の方々も森林の恩恵を受けている。</p> <p>・上流から下流の市民の生命と財産を守るため、森林に対して直接県民税を投じて災害に強い森林づくりを図るとともに、下流域の市民の方々をターゲットとした森林環境教育事業を併せて進めていく。</p>
事業実施により期待される効果	<p>・林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。</p> <p>・直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。</p>
情報発信への取組	<p>・事業実施個所については、税ののぼり旗により啓発を行った。</p> <p>・県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。</p> <p>・森林環境教育の参加者の募集方法として、「夏休み森と緑の親子塾」「まるごと林業体験」は広報津を活用し、広く募集に関する周知を図った。</p> <p>・アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。</p> <p>・市町交付金事業のパネルを市役所庁舎及び県津庁舎に掲示し、PRを行った。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・津市民に本取り組みが伝わるような広報手段を検討していただきたい。森林環境のありよう、取組を伝える方策を検討していただきたい。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	津市林地残材搬出促進事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.8	C
2	2	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	2.8	C
3	3	津市森林環境教育事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

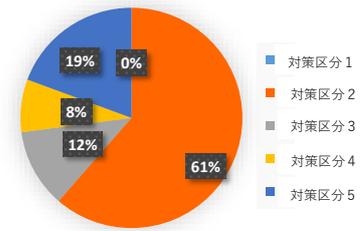
市町名	松阪市	三重県
人口(人)	159,145	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.7%	12.4%
森林面積(ha)	42,802.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	41,341.00	348,833.49
森林率(%)	69.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	7.23	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山の森林安全安心対策事業	12,923,900	12,873,600		12,873,600				
2	3	森林環境学習事業	2,875,400	2,875,400			2,875,400			
3	4	保育園木育推進事業	3,138,000	2,000,000				2,000,000		
4	3	松阪の木魅力発信活動事業	322,625	100,000			100,000			
5	5	都市公園整備事業	2,567,400	2,000,000					2,000,000	
6	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	12,198,977	3,000,000		3,000,000				
7	5	松浦武四郎記念館木育推進事業	3,579,400	3,000,000					3,000,000	
				0						
		計	37,605,702	25,849,000	0	15,873,600	2,975,400	2,000,000	5,000,000	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	12.77ha	5,286,600	5,286,600	間伐12.77ha、現地調査6箇所
森林再生力強化対策事業	8,373m	3,634,950	3,634,950	防護柵補助8,373m
災害からライフラインを守る事前伐採事業	1.7ha	12,198,977	3,000,000	危険木伐採1,007本

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>松阪市は海から山まで、市街地から過疎地まで、一つの自治体の中で風土、地域性が多岐に亘っており、当該交付金の活用については「普く、上流域から下流域まで、如何に有効活用するか」「市民に当事者意識と主体性を如何に促すか」といった両側面において、多様な地域性に応じた事業展開のデザインと創意工夫が求められるところである。加えて、近年の異常気象に起因する自然災害に対応すべく、肅々と森林整備を行うことと同時に、森と緑を育む人づくりを図るため、市民に森林や林業についての学びとふれあいの機会を提供する事も極めて重要であると考えられる。</p> <p>令和3年度は合計7事業について、当該交付金のPRに努めつつ、海から山まで、普く持続可能な施策を展開し、森と緑と市民の関係を一層深められるよう注力した。</p>
事業実施により期待される効果	<p>里山の森林安全安心対策事業及び災害からライフラインを守る事前伐採事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施することにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がる。森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施することにより、飛躍的な森林の公益的機能の理解、定着が期待される。</p>
情報発信への取組	<p>森林整備・都市公園整備遂行にあたり、地域住民への回覧等による情報伝達時に併せて県民税のPRチラシ配布し積極的な啓発を行っている。森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上やテレビ放映において、情報を発信した。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市部から山間部までがあり、県内木材産業の中心地である松阪市では多くのメニューに取り組んでいる点は評価できる。 ・新型コロナ禍の中、当初の計画通りには実施できなかったが、松阪地区青和会と協力できたことは今後の展開に期待できる。 ・松浦武四郎記念館の東屋について、実績書には「木を愛して全国から木材を集め、書齋を建てた武四郎の心・・・」との記載があるが、とってつけたような解説に思われた。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	里山の森林安全安心対策事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
2	3	森林環境学習事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
3	4	保育園木育推進事業	3.0	B	3.0	B	2.7	C	2.7	C
4	3	松阪の木魅力発信活動事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
5	5	都市公園整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
6	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
7	5	松浦武四郎記念館木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

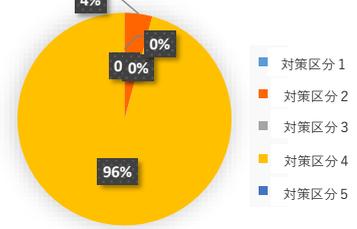
市町名	多気町	三重県
人口(人)	14,345	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.8%	12.4%
森林面積(ha)	5,915.33	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	5,915.33	348,833.49
森林率(%)	57.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	23.2	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	4	木とふれあう環境づくり事業	6,281,000	6,281,000				6,281,000		
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,188,000	275,000		275,000				
		基金積立	954,000	954,000						954,000
		計	8,423,000	7,510,000	0	275,000	0	6,281,000	0	954,000

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	10.94	3,110,800	3,110,800	
森林再生力強化対策事業	924	446,859	446,859	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	多気町は、三重県のほぼ中央部に位置し、森林面積は約57%を占めている。地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が実施されるべき人工林等多様な森林構成になっている。しかしながら、森林所有者の高齢化にともない森林の維持管理が難しい状況であり、森林の荒廃が進行している。そのため県民税を利用し、地域住民に木に触れる機会を提供し、森林の役割について理解を促す必要がある。また、地域住民が安心・安全に生活が送れるようライフラインを守る事前伐採事業を実施していく。
事業実施により期待される効果	県産木材を利用した木製備品を小学校、保育園に導入・配置したことにより、木に対する関心がたかまるとともに、多くの地域住民が集まる公共野外施設(勢山荘)に木製遊具を配置したことにより、多くの方に木の素晴らしさを実感してもらうことができる。 危険木を実践に伐採することにより、より安全・安心した住民生活を送ることができる。
情報発信への取組	多くの地域住民の方に、木製備品の素晴らしさを理解してもらい、また危険木の伐採により安全・安心した生活が送れるということを広報誌等でアピールしていきたい。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・県産材の木製備品の設置はよい取り組みだと思えますが、情報発信が少なく感じられ、もったいないと思いました。利用者からの評判の良さをPRしたり、製作工程を動画で公開するなど、より積極的な情報発信をご検討ください。</p> <p>・木とふれあう環境づくり事業では多くの学校や園に木製品の導入を行っているが、それをきっかけとして森林環境教育を行うと効果的だと考える。明細はわかりやすく良い。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	4	木とふれあう環境づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C
2	2	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

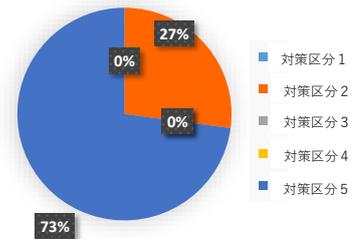
市町名	明和町	三重県
人口(人)	22,951	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.9%	12.4%
森林面積(ha)	310.97	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	310.97	348,833.49
森林率(%)	8.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	11.4	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	松林整備事業	1,991,000	1,991,000		1,991,000				
2	5	木質構造物整備事業	11,553,300	5,354,000					5,354,000	
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			13,544,300	7,345,000	0	1,991,000	0	0	5,354,000	0

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>明和町は三重県の中南部に位置し、総面積41.04平方キロメートルで、民有林面積は310.97ha、保安林は33.87haあります。そのうち、スギ、ヒノキの面積は33.6haであり、その占める割合は10.8%であり県平均よりかなり低い値です。しかし、森林の持つ公益的機能の重要度はますます高まってきていることから、本町においては次に挙げる事業を行う。</p> <p>「災害に強い森林づくり」の推進として、沿岸沿いの防災林の役目を果たす松林の継続的な保護に取り組み、周辺集落や人家への被害を最小限とし、地域住民の安心と安全を確保する。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」として地域住民や小学生を対象に三重県産材の施設や備品に触れていただくことで、森林の大切さや自然環境について考える場を提供する。</p>
事業実施により期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> ・松林整備により景観が保持される。 ・地域住民や観光客の憩いの場としての活用が期待され、整備により安全も確保される。 ・公共施設に県産材を活用した木質構造物を整備することで、三重県産木材の活用促進をはかることができる。 ・整備後に施設を活用した木育を実施することで、森林や緑の大切さ、県民税を活用した事業への理解を深める。
情報発信への取組
<ul style="list-style-type: none"> ・町ホームページやポスター等を通して事業内容や森林保全に係る事項、効果等に関する周知を行う。 ・児童等の散歩(遠足)のコースとし保育士・先生等から児童に木や森の話をしてもらう場所とする。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・二事業とも、有効性・公益性の高い活用をされていると思います。 ・ここ数年、明和町内の小学校が森林環境教育を実施していると承知しているが、県民税は活用されていない。 ・昨年は、「町としての松枯れ対策以外に税の活用方針が見えてこない。」と記載したが、本年は公園での東屋建設が行われたが、町として森林とどのように関わっていこうとしているのか（木材利用を含む）検討され、ある程度の方針の基に事業を考えて頂くと良いと考える。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	松林整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
2	5	木質構造物整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

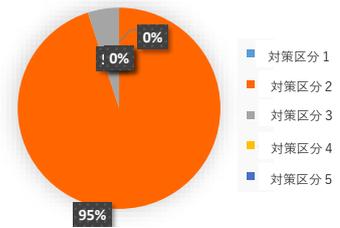
市町名	大台町	三重県
人口(人)	8,975	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	9.8%	12.4%
森林面積(ha)	33,760.45	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	27,941.63	348,833.49
森林率(%)	93.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3		10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)							
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立	
1	3	森林環境教育事業	675,400	675,400			675,400				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	14,159,707	3,541,707		3,541,707					
3	2	集落周辺等危険木伐採事業	12,281,500	9,315,893		9,315,893					
				0							
				0							
				0							
				0							
				0							
		計	27,116,607	13,533,000	0	12,857,600	675,400	0	0	0	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	116.82ha	36,034,900	35,874,000	災害緩衝林事業の周囲の間伐
森林再生力強化対策事業	3,961m	3,091,100	3,091,000	獣害防護施設設置に対する補助
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.93ha	14,159,707	3,539,000	ライフラインを寸断する恐れがある樹木の事前伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
大台町の総面積は362.86km ² であり、その90%以上が山林を占め、県内の町では、最大級の規模を有しています。その大部分が伐採適齢期を迎える中、木材価格の低迷や林業の担い手不足、森林への意識低下等により施業放置される森林が増加しています。そのため、みえ森と緑の県民税を活用し、「災害に強い森林づくり」の防災減災対策の事業として、道路沿いに設置されたライフライン(電線)を風倒被害から守るための事前伐採、集落周辺や人家等への風倒被害を未然に防ぎ、住民の安全・安心を確保するため、危険木の伐採や人工林を帯状に間伐する事業を実施します。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」の事業とし、森林利用について学ぶ機会を提供し、今後の森林林業の担い手となるきっかけとして、地元の高校生を対象に森林や林産物などを学習する場を提供します。
事業実施により期待される効果
災害からライフラインを守る事前伐採事業については、三重県、電力会社との共同の取組として実施。また、集落周辺等危険木伐採事業については、地元区長からの要望等の聞き取りにより実施するなど、各関係機関と連携を図ることにより、地域住民の安全・安心の確保につなげることができる。 森林環境教育については、農林業を専攻する高校生を対象として実施したことにより、大台町の森林や林産物への関心や理解を深めることができる。
情報発信への取組
施工中ののぼり旗等の設置や町広報誌、町HPによる情報発信を実施した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・町内唯一の高校を支援するのは重要なことだと思います。せっかくの取り組みなので、プレスリリース等を通じた積極的な情報発信を期待しています。
- ・これまで先行していたライフラインを守る事前伐採と森林環境教育に取り組まれている。森林環境教育はキノコ中心であったが、人工林施業や木材生産も盛んな地域であり、それらについても学びの場を提供されると良い。
- ・明細者がしっかり記述され事業規模が分りやすい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森林環境教育事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
3	2	集落周辺等危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

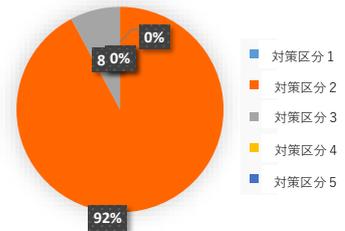
市町名	伊勢市	三重県
人口(人)	122,580	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	11.4%	12.4%
森林面積(ha)	10,956.43	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	10,956.43	348,833.49
森林率(%)	53.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	9.2	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林整備事業	7,265,500	7,265,500		7,265,500				
2	3	三重とこわか国体おもてなし事業	616,000	616,000			616,000			
3		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	7,268,500	7,268,500						7,268,500
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			15,150,000	15,150,000	0	7,265,500	616,000	0	0	7,268,500

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>伊勢市は伊勢平野の南部に位置し、伊勢志摩国立公園の玄関口にもあたる都市あり、自然風景にも恵まれています。</p> <p>本市の森林率は約53%で、総面積のおよそ半数を占めているが、近年の木材価格の低迷による採算性の低下、林業従事者の減少や後継者不足、所有者の高齢化などにより、適正な施策が行われていない森林が増加している。しかし、地球温暖化防止対策として、森林に対する市民の意識・価値観が多様化し林業生産活動のみならず、森林の有する公益的機能が求められていることから、健全で活力のある森林資源の造成を行うことが重要な課題となっている。</p> <p>このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、海岸林の保全、公共施設等への県産材利用を促進していき、多くの市民が恩恵を受けられる環境を目指します。また、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進していきます。</p>
事業実施により期待される効果
<p>①病害虫被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図る。</p> <p>②県産材を使用することで、森林資源の活用と木に触れる機会を作り出す。</p>
情報発信への取組
<p>当事業全般については市HPにおいて紹介している。また事業ごとに、以下の方法で実施。</p> <p>①施行前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施行期間中は現地にのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。</p> <p>②楯には県民税ロゴの焼印を押すことで、県民税を用いて製作したものであることを明示した。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・事業2については、長く手元に置いてもらえるようなモノづくりを考慮すると、より効果的だと思う（デザイン性を高める工夫も大切ではないか）。
- ・イベントを通してどの程度、森林環境を伝えられるか、期待をしている。情報発信としてはよい機会だと思うが、その反面、違う目的での参加であるため、難しさも感じる。課題・成果を共有し、イベントを通してのPR方法が見出せるとよい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	森林整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.8	C
2	3	三重とこわか国体おもてなし事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.8	C

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

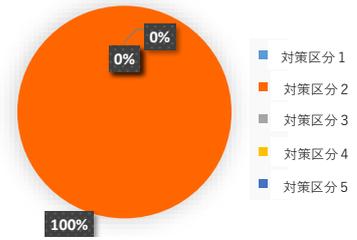
市町名	鳥羽市	三重県
人口(人)	17,962	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	9.5%	12.4%
森林面積(ha)	7,483.76	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	7,486.76	348,833.49
森林率(%)	70.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	10.2	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	6,476,702	6,476,702		6,476,702				
2	2	森林病害虫防除樹幹注入業務委託	493,900	493,900		493,900				
3		基金積立事業	1,212,398	1,212,398						1,212,398
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			8,183,000	8,183,000	0	6,970,602	0	0	0	1,212,398

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p>事業方針</p> <p>本市では、人工林率が25%となっており、人工林率が低く、天然率が高いことが特徴である。本市の強みである水産業と森林には密接な関連があり、本市内の森林を整備することで、水源涵養力や土砂流出災害防止などの森林本来の機能を回復させるとともに、森林の土壌に含まれているミネラルなどが川へ流れ込み海に入り、磯焼けの防止や藻場の再生につながり、海産物の育成などにも好影響が生じる。</p> <p>しかし、本市では急峻な地形であることや林業経営体が減少していることにより、森林整備が進んでおらず、海産物や市民生活に支障をきたす恐れがある立木が多い。そのため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備をすすめ、市民の生活に支障をきたすことがないようにするとともに、森林の整備を行うことが海の環境改善につながる。</p>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p>危険木の伐採を行ったことにより、市民が安心安全な生活を送ることができるようになった。また、危険木伐採(補助金)では、市が施行するまでの間に状況が変化し倒木する可能性がある。補助金事業として町内会が主体となって行うことにより、各町が一番危険と感じている木を最優先でそれぞれ伐採できるため、危険要因を排除できる。</p> <p>また、伐採木は実施した町内で必要とする人が必要分活用することにより、木がもつぬくもりや利便性を感じてもらえることができた。</p>
<p>情報発信への取組</p> <p>危険木伐採を実施する前に、対象となる町内会に回覧文書を作成し、周知を図った。また、施行後には町内会・漁協を通じて、伐採木活用意向を聞き取ってもらい、伐採木を引き取ってもらう人に対して周知を行った。</p> <p>病害虫防除樹幹注入業務委託では、神島町内会と相差町内会では回覧文書を作成し、回覧板等に掲載した。</p> <p>市ホームページでは、県民税に関するページを作成し、紙ベースではなくインターネットでも実績の周知を図った。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業1について、枝払い等も施行方法として取り入れたことは、地域の要望に沿ったよりきめ細かな整備を実施するという方向性として評価できる。 ・この取組が森林環境税を使って実施されているかを、対象地域以外の住民に知っていただく取組を強化してください。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	2	森林病虫害防除樹幹注入業務委託	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

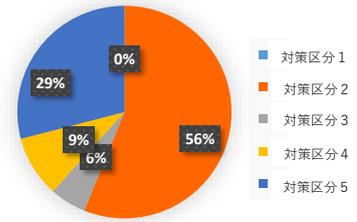
市町名	志摩市	三重県
人口(人)	46,904	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	9.0%	12.4%
森林面積(ha)	9,103.74	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	9,101.49	348,833.49
森林率(%)	51.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	6.2	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森と緑ふれあい事業	573,405	570,000			570,000			
2	2	災害に強い森林づくり事業	4,622,200	4,622,000		4,622,000				
3	2	松くい虫防除事業	1,212,200	1,171,000		1,171,000				
4	5	創造の森横山遊歩道整備工事	3,000,000	3,000,000					3,000,000	
5	4	観光農園木製品購入	960,000	960,000				960,000		
				0						
				0						
				0						
計			10,367,805	10,323,000	0	5,793,000	570,000	960,000	3,000,000	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	11.47	3,256,000	3,256,000	調整伐(間伐)
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用がされなくなり、森林病害虫の発生が見られたり、獣害被害が農地や人家近くに及ぶようになってきた。 この状況下において、森林の持つ多面的な機能を市民に知ってもらうために、木製品にふれあう機会を創出や体験型の講習会などを通じ里山保全の手法を体験していただき、市民による森と緑ふれあい事業の取り組みをさらに推進する。 併せて災害に強い森林づくりとして森林整備を進めていく。
事業実施により期待される効果
①体験型の講習会を開催したことにより、森林への関心やその手法を市民に伝えることができた。 ②古くから海岸保全林として地元住民に親しまれていた松林の保全ができた。また、森林公園としての松林の保全ができた。 ③特定水源地域において、連携枠を活用し、調整伐を実施し、森林整備が促進された。
情報発信への取組
事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置している。 また、事業実施時において地元自治会長等に事業を周知する文書を配布するにあたり、文書内に県民税を活用して事業実施している旨の文言を記載して地元住民への周知を図っている。 事業成果について、市ホームページで紹介する予定をしている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・事業4について、事業内容として書かれていることと実際の内容が一致していないように思う。正確な記述を心がけてほしい。
- ・プレートをつけるだけでなく、三重の森林環境のありよう、県民税の必要など合わせ手の情報発信をお願いしたい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森と緑ふれあい事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.8	C
2	2	災害に強い森林づくり事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C
3	2	松くい虫防除事業	3.3	B	3.3	B	2.8	C	2.8	C
4	5	創造の森横山遊歩道整備工事	3.0	B	2.8	C	3.0	B	2.8	C
5	4	観光農園木製品購入	3.3	B	2.8	C	3.0	B	2.8	C

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

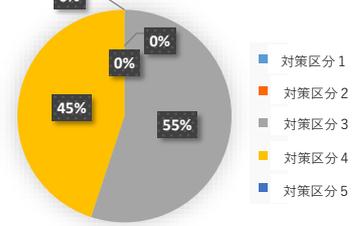
市町名	玉城町	三重県
人口(人)	15,199	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	14.5%	12.4%
森林面積(ha)	1,259.02	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	1,258.77	348,833.49
森林率(%)	31.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	25.7	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1			0						
2	2			0						
3	3	森林環境教育・木育事業	341,132	341,132			341,132			
4	4	公共施設整備事業	278,300	278,300				278,300		
5	5			0						
6	6		5,594,568	0						5,594,568
				0						
				0						
計			6,214,000	619,432	0	0	341,132	278,300	0	5,594,568

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針 本町は、三重県のほぼ中央に位置し、伊勢市、度会町、多気町、明和町に隣接している。総面積は40.91km ² でそのうち、森林面積は1,258.77haで森林率は31%と低く、そのほとんどが民有林で人工林面積は1,133.59haで森林面積の90%を占めている。森林率が低いがゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づかせる事で、森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいと考えている。 このため、保育園や小学校で森林環境教育を実施して森を育む人づくりを行ったり、またアスピア玉城で三重県産の木材を使用したりする事で、森と人をつなぐ学びの場として、多くの方々に森林の必要性、大切さを周知し、啓発していく。
事業実施により期待される効果 森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらう。 また、木と触れ合える教育環境を児童や園児とその保護者、指導者に感じてもらい、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらう。
情報発信への取組 町の広報誌(広報たまき)へ掲載し、町民に対して積極的に情報提供(PR)しました。 町民はもとより、木育活動等を実施した施設の対象者(児童、園児)、教員・職員からも事業に対する理解の声をいただきました。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業2については、着実な実施を期待する。 ・受益者の反応を記述いただけるようよい。 ・公共施設整備事業については、設計段階だとあるが、どのような工夫はあるか等特性について記述ください。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森林環境教育・木育事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	4	公共施設整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

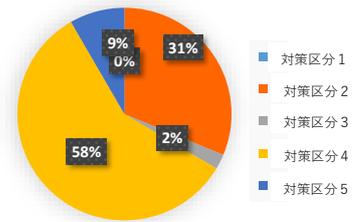
市町名	度会町	三重県
人口(人)	7,950	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	11.6%	12.4%
森林面積(ha)	11,410.44	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	11,410.44	348,833.49
森林率(%)	85.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	9.6	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	1,760,000	1,760,000		1,760,000				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,877,961	969,000		969,000				
3	3	森林環境教育推進事業	199,320	199,000			199,000			
4	4	県産材を活用した木製品整備事業	5,095,200	5,072,000				5,072,000		
5	5	森と人が共存する環境づくり事業	726,000	726,000					726,000	
				0						
計			11,658,481	8,726,000	0	2,729,000	199,000	5,072,000	726,000	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	31 ha	10,912,000	10,721,000	間伐
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.1 ha	3,877,961	969,000	伐採施工、立木補償

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p>事業方針</p> <p>本町は、三重県の南東部に位置する内陸地であり、町の西から東に流れる宮川・南から北へ流れる一之瀬川沿いに集落が広がっている。総面積のうち山林が84.5%占めており、古くから人工林の整備が進められてきたが、近年の木材価格の低迷や林業後継者不足により、林業経営が厳しい状況下となっている。</p> <p>本県民税を財源に本町では、第7次年度町総合計画に定める「みらい わたらい わかち愛 ～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～」の将来像を基盤に、地域材で木材製品を整備し、地域材の利用を促進するとともに、森林について「学ぶ場」と「ふれあう場」を提供する。また、近年の災害状況を踏まえ、道路・河川・ライフラインに関連した暮らしの安全を守る強靱なまちづくりをすすめる。</p>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p>道路沿い等については住民に危害を与える恐れのある危険木を伐採し、河川沿いについては大雨時に下流へ倒木等が流出しないよう撤去し、防災・減災に努め、安全確保につながる。</p> <p>また小学校においては出前授業を行い、森林について学ぶ場・触れ合う場を提供することで、森や緑の大切さ、森づくりへの理解を深めることができる。備品を県産の木材製品で整備することで、木への親しみが深まり、木材の良さを知ってもらうことで、木材利用の促進・林業の活性化へつなげる。登山ポストを設置し入込客数を把握することで、利用者がより安心して登山道を利用できる環境づくりへとつなげる。</p>
<p>情報発信への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 町ホームページ及び町広報紙により取組みを周知。 森林環境教育推進事業については記者提供をおこない、出前授業の取組みを中日新聞(令和4年2月18日朝刊)へ掲載。 森と人が共存する環境づくり事業については記者提供をおこない、登山ポスト設置に関する取組みを伊勢新聞(令和4年4月10日朝刊)へ掲載。 庁舎内掲示板にて事業事例の紹介 現地に県民税ののぼり旗の設置 整備備品・登山ポストへの県民税ロゴマークの貼付

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・事業3や事業4など、意欲的な取り組みが予定されており、評価できる。</p> <p>・メディアに掲載されるなど広く住民に知っていただける工夫をされていてとてもいいですね。また学習と木製備品の整備がつながっていて、子どもたちの学びが授業と日々の学校生活をとおして森林に触れる機会があってとてもいいです。子どもたちの成長が楽しみです。登山ポストも楽しみです。双方向のコミュニケーションが図れるとさらに良いのでは、と思います。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
3	3	森林環境教育推進事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
4	4	県産材を活用した木製備品整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
5	5	森と人が共存する環境づくり事業	3.8	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

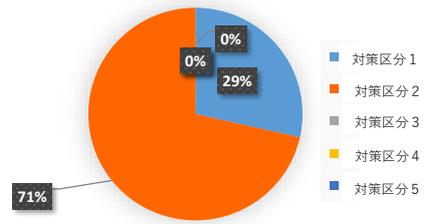
市町名	大紀町	三重県
人口(人)	8,068	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	7.8%	12.4%
森林面積(ha)	21,131.83	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	20,406.17	348,833.49
森林率(%)	91.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	13.2	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	生活環境林整備事業	3,541,000	3,541,000		3,541,000				
2	1	溪流倒木等処理事業	1,413,000	1,413,000	1,413,000					
3		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	6,373,000	0						6,373,000
計			11,327,000	4,954,000	1,413,000	3,541,000	0	0	0	6,373,000

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	10.27	7,200,600	7,200,000	間伐等(災害緩衝林一休型)
森林再生力強化対策事業	356	214,942	214,000	植栽タイプ
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針 大紀町は、大台山系に連なる山岳地帯に属しており急峻な地形で、本町面積23,332haのうち森林面積が21,133haとなっており、91%占めている。そのうち13,900haと人工林率は68%に達しており、人工林地帯である。本町では、基本方針1の「災害に強い森林づくり」を強力に進める為、生活環境林整備事業と溪流倒木等処理事業を実施し、町民生活の安全安心を向上させていく。また、非常時における森林内の危険木流出による被害拡大を軽減させる為、河川の上流部に位置する大紀町としての役割を果たすことで、県民全体の安全安心に繋げていく。水道水源林において、自主的な間伐を促進し、安心・安全な水道水の確保する為に、水道水源林の町有林化を行っていく。
事業実施により期待される効果 事業実施により、通常時、住民が利用する生活道路や、生活に直結している人家への安全性が向上したことで、非常時における避難や、被害拡大防止の観点からも、住民の安全安心を向上する。
情報発信への取組 事業実施について、森林所有者や地区代表者に税事業での実施を説明している。 事業実施中は、県民税職を事業箇所にて、県民税での事業実施をPRしている。 事業完了後、当年行った事業においてPRポスターを作製し、庁舎掲示及び大紀町HPにアップし税事業のPRを行う。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・必要な事業が実施されている。 ・受益者の反応を記述いただいているので、成果が分かりやすいです。多くの住民にこの成果を伝えて（情報発信）ください。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	生活環境林整備事業	3.5	A	3.3	B	3.0	B	2.8	C
2	1	溪流倒木等処理事業	3.5	A	3.3	B	3.0	B	2.8	C

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

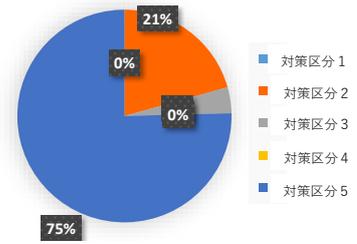
市町名	南伊勢町	三重県
人口(人)	11,461	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	6.1%	12.4%
森林面積(ha)	20,629.37	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	20,429.98	348,833.49
森林率(%)	85.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	0.2	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木除去事業	2,377,100	2,377,000		2,377,000				
2	3	森林環境教育事業	454,080	454,000			454,000			
3	5	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業	8,685,050	8,685,000					8,685,000	
				0						
計			11,516,230	11,516,000	0	2,377,000	454,000	0	8,685,000	0

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
当町の森林・林業を取り巻く情勢として、総土地面積の約85%(20,630ha)が森林で覆われているにもかかわらず、林業業者は27人しかおらず、林業者が極めて少ない状況となっている。森林の整備についても、過去10年間に行われた間伐面積は約250haで、整備が行われていない森林が大半であり、森林所有者の関心が低くなっていることが窺える。そのような状況の中、森林について興味関心が持てるように、公共施設周辺や通学路・避難道等にかかる危険木の除去や、森林環境教育事業による森や海を大切に思う子どもの育成、子どもや町民が森林や木材についてふれあいながら学ぶことができる場づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑に関わる機会を創出することを目的に県民税を活用する。
事業実施により期待される効果
危険木の除去については、自然災害等による倒木を未然に防ぐことで、安全安心して暮らすことに寄与している。 森林環境教育事業については、樹木について知識を得ることや木製品が身近にあることで森と緑の大切さを理解し、森林について考えるきっかけづくりへの寄与を期待している。 阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業については、町民が日常的に使用する公園をウッドチップ舗装することにより、木材に親しみ身近に感じてもらうことができている。また、今後区民が一堂に会する夏祭り等のイベントで使用されることにより、木や県民税を身近に感じてもらう機会となっている。
情報発信への取組
町の広報誌やHPへの掲載することにより、情報発信を行いました。 阿曾浦公園については県民税で整備したことが記載されている看板を設置し、情報発信を行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業2について、もう少し内容を正確に説明して欲しい。 ・受益者の反応を記述いただいているので、成果が分かりやすくてよい。多くの住民にこの成果を伝えて（情報発信）ください。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木除去事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
2	3	森林環境教育事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
3	5	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

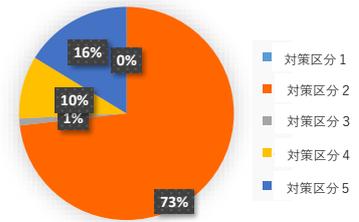
市町名	名張市	三重県
人口(人)	76,729	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.4%	12.4%
森林面積(ha)	6,835.43	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	6,835.43	348,833.49
森林率(%)	53.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	13.3	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	3,453,200	3,453,200		3,453,200				
2	5	森林公園等環境活用整備事業	940,000	940,000					940,000	
3	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	503,925	503,925		503,925				
4	2	人家裏危険木伐採事業	2,050,000	2,050,000		2,050,000				
5	4	学校林整備事業	900,000	900,000				900,000		
6	3	森林環境教育推進事業	100,000	100,000			100,000			
7	5	桜並木保全管理事業	300,000	300,000					300,000	
8	5	無形民俗文化財保全事業	300,000	300,000					300,000	
9	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,711,400	927,850		927,850				
10	5	みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	1,797,025	1,797,025						1,797,025
計			14,055,550	11,272,000	0	6,934,975	100,000	900,000	1,540,000	1,797,025

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	39.70ha	13,497,000	13,497,000	災害緩衝林一体型整備事業の実施(間伐)名張市 黒田 地内
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.171ha	3,711,400	927,850	名張市 夏秋、夏見 地内で実施

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>名張市は、周囲を山々に囲まれた山間盆地であり、林野率は52.7%、人工林率は65.0%で、森林の主体をなす私有林においては、5ha未満の所有者が全体の52.1%を占めている。特に、南部は森林資源が豊富で、かつては優良な木材を産出する地域であったが、最近の社会情勢の変化に伴い伐採適齢期を過ぎても放置されている森林が増加し、里山としての利用すらほとんどなくなっている。</p> <p>しかし、森林の持つ多様な公益的機能は市民にとってかけがえのない財産であり、名張市が目指そうとする「福祉の理想郷づくり」には欠かせない重要な要素であることから、森林の機能低下を防ぎその向上を図るため、災害に強い森林づくりとして森林整備を進めるとともに、市民が森と緑に触れ合う機会を創出し、森を育む人及び学びの場づくりを進める。</p>
事業実施により期待される効果
<p>「災害に強い森林づくり」に沿った事業の実施により、あまり手入れされることがなく放置され、市民の生活圏を脅かしていた森林が整備されたことで、市民がより安心して暮らせるようになる。また、森林への関心が高まる今日、「県民全体で森林を支える社会づくり」に沿った事業の実施により、森林環境教育を推進し、次代を担う子どもたちが森林や緑に対する関心を深めることで森林の重要な役割に気付くきっかけづくりとなる。</p>
情報発信への取組
<p>事業内容やその成果については広報誌、ラジオ放送により、広く市民に周知している。また、事業実施現場にはのぼり旗や看板を設置することで、みえ森と緑の県民税の存在を最大限周知できるように努めた。保育・幼稚園、小学校関連の事業については、保護者だより等で事業実施を周知するとともに財源にはみえ森と緑の県民税が活用されていることを記載した。</p> <p>その他、令和2年度に実施した「森と人をつなぐ憩いの空間作り事業」で名張市役所1階に木製の授乳室を設置し、付近にみえ森と緑の県民税に関するパネルを展示することで、市庁舎を訪れる大勢の方に向けて県民税の周知に努めた。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・有効に活用されています。 ・名張市は、総合的に県下で平均的な市の概要であるが、基本自治会や地域づくり協議会、ボランティアなど、住民が主体になって補助金という形で行政がサポートする仕組みをとっており、自然と情報発信力も伴い、効果的な使われ方をしていると高く評価します。 ・多岐に渡る事業に取り組んでいる点は評価できるが、松明用ヒノキを植栽の事業だけ分かりにくかった。 ・記載内容については他市町と比べても大変充実している。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
2	5	森林公園等環境活用整備事業	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.0	B
3	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.3	B
4	2	人家裏危険木伐採事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.3	B
5	4	学校林整備事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
6	3	森林環境教育推進事業	3.0	B	3.3	B	2.7	C	3.3	B
7	5	桜並木保全管理事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	3.0	B
8	5	無形民俗文化財保全事業	3.3	B	2.7	C	2.7	C	2.7	C
9	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

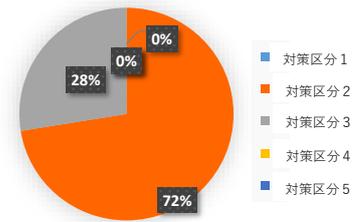
市町名	伊賀市	三重県
人口(人)	86,306	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	11.2%	12.4%
森林面積(ha)	33,952.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	32,599.00	348,833.49
森林率(%)	61.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	12.1	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	親子ではじめる木育推進事業	1,551,160	1,551,160			1,551,160			
2	2	みんなの里山整備活動推進事業	6,569,000	6,569,000		6,569,000				
3	3	伊賀の森っこ育成推進事業	2,080,288	2,080,288			2,080,288			
4	3	地域の森と緑のつながり支援事業	250,000	250,000			250,000			
5	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	5,486,580	5,486,580		5,486,580				
6	3	森のやすらぎ空間整備事業(伊賀の木活用人材育成)	699,994	699,994			699,994			
7	-	みえ森と緑の県民税市町交付金	2,661,978	2,661,978						2,661,978
計			19,299,000	19,299,000	0	12,055,580	4,581,442	0	0	2,661,978

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	158箇所、44.65ha	16,808,000	16,808,000	現地調査及び間伐実施
森林再生力強化対策事業	-	-	-	-
災害からライフラインを守る事前伐採事業	-	-	-	-

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>伊賀市の総面積55,817haの内、森林面積は33,952haで総面積の約60%を占めている。古くから林業の盛んな大山田、青山地域の人工林率は高いものの、市全体の人工林率は56.8%と県平均人工林率62.5%を下回っており、零細で小規模な所有者が多くなっている。</p> <p>森林は、木材等の林産物の供給といった経済的機能に加えて、山地災害の防止や水源かん養などの公益的機能を有している。伊賀地域は、布引山系、鈴鹿山系、大和高原に囲まれ、地域の景観を形成するほか、大阪湾に流れる淀川の源流域であり、近畿圏域の水源地である。このような特徴から、伊賀地域の森林環境の保全・維持は、伊賀地域のみならず、近畿圏域の自然環境の保全、自然共生社会の形成に寄与するという意義がある。そこで、当交付金事業により、伊賀地域の林業振興及び森林環境の保全・維持を進めることで、災害に強い森林づくりと県民全体で森林を支える社会づくりを実現する。</p>
事業実施により期待される効果	<p>みんなの里山整備活動推進事業では、事業を通して地域の山林として位置づけることで、維持管理する方向性が地区等で広がっている。未利用間伐材バイオマス利用推進事業においても、災害に強い森林づくりのみならず、森林所有者が間伐作業へ携わる機会の増大に貢献している。木育関連事業で実施したアンケートでは、木のぬくもりの良さについて回答する意見も見受けられ、森林の持つ重要性についての周知が進んでいる。</p>
情報発信への取組	<p>みえ森と緑の県民税の認知度をより高めるため、市内で放映されるCATV(伊賀上野ケーブルテレビ)を活用して、みえ森と緑の県民税の目的や必要性を周知した。伊賀市では、木育から森林整備まで幅広く事業展開している市町交付金事業の全事業について紹介し、中でも、「森のやすらぎ空間整備事業(伊賀の木活用人材育成)」の紹介では、生徒がプレゼンテーションしている様子の写真や完成品の写真、配置箇所等を説明し、県民税を身近に感じられる内容で周囲した。また、昨年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染症対策の観点から、市内の農産物等イベントへの木育ブース出展による情報発信活動は中止となったが、みえ森と緑の県民税に関するアンケート等を実施したほか、伊賀市役所庁舎内にて、木使いの重要性を伝えるパネル展示、みえ森と緑の県民税に関するパネル展示を三重県伊賀農林事務所と共同で実施し、森林の重要性とともに県民税の周知に努めた。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々による森林整備支援、木育の取り組みなどよく工夫されている。 ・4の事業の成果概要を示して頂くと大変良いと感じた。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	親子ではじめる木育推進事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
2	2	みんなの里山整備活動推進事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
3	3	伊賀の森っこ育成推進事業	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.3	B
4	3	地域の森と緑のつながり支援事業	3.0	B	2.7	C	2.3	C	2.7	C
5	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	2.7	C	2.7	C	3.0	B
6	3	森のやすらぎ空間整備事業 (伊賀の木活用人材育成)	3.0	B	3.0	B	2.7	C	2.7	C

第 11 号様式 (その 1) (評価委員会資料)

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

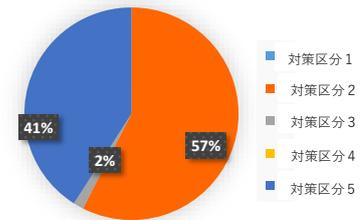
市町名	尾鷲市	三重県
人口 (人)	16,567	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	9.1%	12.4%
森林面積 (ha)	17,703.01	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	14,933.86	348,833.49
森林率 (%)	92.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	6.0	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	2	人家裏危険木伐採事業	1,277,000	1,277,000		1,277,000				
2	5	野鳥の小径遊歩道等整備事業	1,611,500	1,611,500					1,611,500	
3	5	中村山公園整備事業	1,980,000	1,980,000					1,980,000	
4	2	野地町駅前児童公園ほか整備事業	3,762,000	3,762,000		3,762,000				
5	3	木とふれあう学校環境づくり	136,400	136,400			136,400			
6		災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,477,100	0						1,477,100
計			10,244,000	8,766,900	0	5,039,000	136,400	0	3,591,500	1,477,100

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	2.85ha	3,733,400	3,733,400	間伐等 (災害緩衝林一体型)
森林再生力強化対策事業	966m	627,000	627,000	獣害防止施設設置等整備
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市は面積の約90%を森林が占め、居住地のすぐ側に自然と触れ合える環境に恵まれている。古くから林業、漁業、農業など一次産業を中心としたまちとして歩んできた歴史があり、学校でも地域の産業を学ぶ授業でこれら地場産業の紹介がなされ、また、山・川・海をフィールドとした体験学習が実施されるなど、地域の歴史と循環型社会の展望を学ぶ場として森林は切っても切り離せない大切な役割を果たしている。 一方で、近年では災害による被害が拡大傾向にあることから、災害に強い森林づくりは大変重要なものと考えている。危険木等についても伐採したままにするのではなく、園児や児童、生徒への木育の機会を設けるツールとして利用する方法を考えると共に、災害の未然防止と森林教育の更なる充実を図る観点から事業の選定を実施している。
事業実施により期待される効果
人家裏や公園の危険木伐採は、災害に強い町づくりの推進に一定の効果が得られたと考えており、この点については、事業実施後の住民の反応や声をみても、いずれも好意的なものであったため、安心安全の確保に効果があったと感じている。また、野鳥の小径に設置した木製看板についても、遊歩道を散策しながら森林について学ぶ機会を整備することができたと考えており、今後のイベントなどでの活用が期待できる。 しかし、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もあり、木育等の事業は縮小又は中止せざるを得ない状況が続いており、計画策定時に想定していた取組みの完全実施には至らなかったため、コロナ禍での有効なイベントの開催方法を引き続き模索していきたい。
情報発信への取組
令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、体験や交流のイベントはほとんど開催できなかったため、ホームページや広報誌での情報発信がほとんどであった。危険木除去等では伐採した箇所に看板を設置する等し、一定の周知は図れたと思うが、コロナ禍でも実施できる活動等と併せた情報発信を考えていく必要があると感じた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・必要な事業が適切に実施されていると評価するが、事業4については、費用対効果の面で少し気になった。 ・広報に事業一覧を掲載いただくなど、市民への周知をしていただいていること、メッセージ性もあり、とてもよいと思います。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	人家裏危険木伐採事業	3.3	B	3.5	A	3.3	B	3.0	B
2	5	野鳥の小径遊歩道等整備事業	3.0	B	3.0	B	3.5	A	3.0	B
3	5	中村山公園整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
4	2	野地町駅前児童公園ほか整備事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
5	3	木とふれあう学校環境づくり	3.8	A	3.5	A	3.3	B	2.8	C

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(令和2年度版三重県市町要覧による)

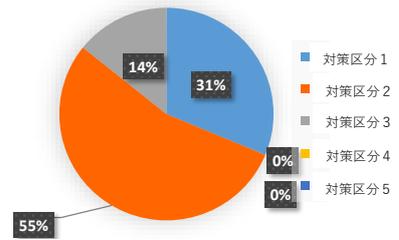
市町名	紀北町	三重県
人口(人)	14,752	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	8.1%	12.4%
森林面積(ha)	22.93	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	18,009.40	348,833.49
森林率(%)	89.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	52.1	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1	河川周辺森林立枯木整備事業	1,145,100	1,145,100	1,145,100					
2	2	危険木伐採事業	1,893,000	1,893,000		1,893,000				
3	2	集落周辺森林(里山)整備事業	101,100	101,100		101,100				
4	3	森林環境教育活動支援事業	520,974	520,974			520,974			
5	4	町内学校等木質化事業(基金積立)	7,373,826	0						7,373,826
計			11,034,000	3,660,174	1,145,100	1,994,100	520,974	0	0	7,373,826

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	7.1ha	1,791,979	1,791,979	等高線並べの間伐による緩衝林化
森林再生力強化対策事業	4627m	2,600,478	2,600,478	鳥獣害防護柵新設・補修
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	紀北町は、年間を通じて温暖で降水量が多いという育林に適した気候条件に恵まれ、森林面積(22,976ha)は町総面積の約90%を占め、古くから林業が盛んに行われている。森林の再生と森林の持つ多面的機能の持続的な発揮に向けた整備と保全に向け、林道の整備や人家裏危険木の伐採、小中学生等への林業のPRなど多様で健全な林業経営基盤の確立を促進する。また、地元材の利用促進、里山整備、木質バイオマスの活用、新たな木材利用への転換とともに、林業の活性化に繋げていく。
事業実施により期待される効果	河川周辺森林立枯木整備事業では立枯木を伐採することにより、大雨が降った際に下流域の橋梁等を損傷させてしまうリスクを減らすことができた。危険木伐採事業においては、事業実施主体である各区の森林管理意識向上が見られ、補助金活用の要望が増加した。森林環境教育活動支援事業では補助事業が中学校1校、町主体の環境教育を小学校2校と中学校1校で開催でき、この事業では尾鷲ヒノキ林業についての座学を森林組合おわせ職員に講師依頼し、町職員所有の山林にて間伐体験を行うことで、児童らは森林の大切さを学ぶことができた。感想として将来林業の仕事に就きたいとの声があり林業や森林環境に対する理解が得られた。集落周辺森林(里山)整備事業においてはNTRCの登山道整備により安全性が増してよくなったの意見をいただいた。
情報発信への取組	紀北パーキングエリア内の始神テラスの一角に展示スペースを設け事業成果を示したパネル展示や、ノベルティの配布を行った。また今年度は東京パラリンピックで聖火リレーに使用されたトーチを展示し、記念撮影可能にしたことにより来場者の目に留まることが期待できる。また、町民向けの行政放送テレビチャンネルで県民税について取り扱い、事業実施にはPR用の木製標柱を設置した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・必要な事業を適切に実施している。効率性や有効性の面で良く工夫されている。 ・活動団体とのコラボレーションは、住民の当事者意識や地域への思いや誇りを高めるのでとても良いと思います。 ・受益者の反応が書かれているので取組の対する成果や思いを把握できてとてもよいです。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	河川周辺森林立枯木整備事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
2	2	危険木伐採事業	3.5	A	3.5	A	3.3	B	3.3	B
3	2	集落周辺森林（里山）整備事業	3.5	A	3.5	A	3.3	B	3.3	B
4	3	森林環境教育活動支援事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

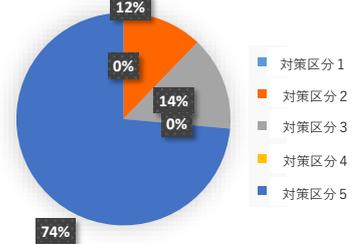
市町名	熊野市	三重県
人口(人)	16,113	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	9.9%	12.4%
森林面積(ha)	32,935.18	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	29,621.62	348,833.49
森林率(%)	88.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	9.8	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林病害虫等防除実施事業	1,523,500	1,523,500		1,523,500				
2	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	11,049,300	11,049,300					11,049,300	
3	2	暮らしを守る危険木伐採事業	502,700	502,700		502,700				
4	5	景勝林等保護事業	1,205,600	1,205,600					1,205,600	
5	3	クマノザクラ整備・保全管理等事業	2,378,080	2,378,080			2,378,080			
				0						
				0						
				0						
計			16,659,180	16,659,180	0	2,026,200	2,378,080	0	12,254,900	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	7.16ha	4,409,900	4,409,900	災害緩衝林実施箇所周辺の調整伐
森林再生力強化対策事業	2,457m	2,278,647	2,278,647	獣害防護柵設置
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	熊野市の地勢は内陸に向かうに従って紀伊山地の急峻な山地となり、森林面積は総面積の88%を占めている。また、民有林面積は29,624haと全森林の約90%を占め、うち人工林は22,921haと県下でも有数の林業地域である。しかしながら、林業を取り巻く環境は木材の長期的な低迷に加え、担い手の減少、林業従事者の高齢化、生産基盤の立ち遅れ等が極めて厳しく、このまま推移すれば森林の整備水準の低下等により公益的機能が十分に発揮されないなど、住民生活への影響が懸念されている。そのため、「災害に強い森林づくりと環境林の保全」という熊野市森林・林業ビジョンの基本方針の1つに沿って、防災機能の強化による安全・安心の実現、里山林整備と奥地天然林や溪畔林の保全、身近な森林の恵みを活用する環境づくりなど、森林が与えてくれるさまざまな恩恵を評価した上で、森林と積極的に付き合っていく取組を展開していく。令和3年度については、地元住民が利用する生活道路に対して、日常生活はもとより、台風襲来や地震発生など有事の際にはより一層危険を及ぼすおそれのある枯損木や支障木を除去することにより、木々の防災機能の強化による安全・安心な暮らしの実現、さらには多くの利用者が継続して利用している森林公園のほか、街路樹や集落内の緑に対し、地元特有のクマノザクラを新植・保育することで魅力を向上させ、多くの利用者・来訪者に緑を身近に感じてもらう環境づくりに取り組んだ。
事業実施により期待される効果	市が公益性の判断で実施する事業には特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に効果を及ぼすものが多く、県民税事業を行うことにより、安全・安心に地元の森林や自然とふれあう環境を整備することができ、市民だけでなく市への来訪者にも恩恵を受けてもらう。
情報発信への取組	事業実施の際にはのぼりや看板によって県民税のPRを行っているが、広い市域の中にあつて事業箇所が点在しており、利用者の目にふれる機会が少ないことから、市のホームページに事業の計画と実績の紹介へ市の玄関口であるJR熊野市駅や市街地に近い市文化交流センターにおいて例年パネル展示を行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・裾野の広い活用をされており本税の目的にしていると感じました。 ・森林面積が9割弱の過疎が進む地域だが、地元で発見されたクマノザクラによって、町全体が活性化されるよう期待します。 ・熊野市も林業の盛んな地域であるが、その特徴を活かした事業があまりない。 ・素材生産が盛んで原木市場もあり、内装材を中心とした工場では木育の取り組みが進んでいる。 ・そうした方と連携した事業で地域の資源を活かせるような取り組みを期待したい。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	森林病虫害等防除実施事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
2	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
3	2	暮らしを守る危険木伐採事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	3.0	B
4	5	景勝林等保護事業	3.7	A	3.0	B	3.3	B	3.0	B
5	3	クマノザクラ整備・保全管理等事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

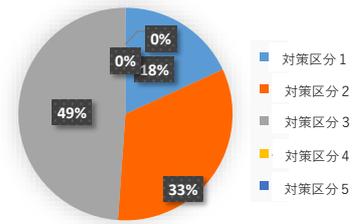
市町名	御浜町	三重県
人口(人)	8,800	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	11.0%	12.4%
森林面積(ha)	5,691.76	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	5,598.49	348,833.49
森林率(%)	65.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	20.4	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	5	森林公園等環境整備事業	1,697,300	1,697,300	1,697,300					
2	4	中央公民館木質化事業	3,091,800	3,091,800		3,091,800				
3	4	道の駅等木製看板設置事業	4,577,500	4,577,500			4,577,500			
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			9,366,600	9,366,600	1,697,300	3,091,800	4,577,500	0	0	0

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>長期にわたる木材価格の低迷により未整備森林の増加が懸念されており、公益的機能を十分発揮できない森林の整備については森林環境贈与税を活用して整備を行い、一方県民税では、森林公園等のフィールド整備を行うことにより、住民が森林や緑とふれあう機会を創出し、また森林環境教育を行う公共施設等で木材を利用することにより、木材の良さを伝え、木材を使うことが森林整備につながることへの理解を深めていく。</p>
事業実施により期待される効果	<p>多くの児童が利用する図書館での備品等の木質化を行い、県産材に触れながら森林についての学習ができる場を提供することができた。また、森林公園の整備を行うことにより、住民に森や緑に触れ合う機会を創出することができた。</p>
情報発信への取組	<p>町民や施設利用者へ県民税を活用して整備が行われていることを周知するため、作業期間中に県民税ののぼり等の設置、庁舎内でのパネル掲示、事業により導入した備品等への県民税ロゴマークの貼付、事業実施施設への県民税ポスターの掲示を実施した。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・一つ一つの取り組みは良いものだと思いますので、より積極的な情報発信に期待します。
- ・全体的に事業の内容の見直しを講じる。費用対効果、もっと他に有用な使い道はないのか、検討を要したいです。
- ・看板に大きな額を割かれているが、割高に感じた。
- ・町として森林とどのようにかわり、利用してゆくのかという方向性と合わせて示して頂きたい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	5	森林公園等環境整備事業	3.0	B	3.0	B	2.7	C	3.0	B
2	4	中央公民館木質化事業	3.0	B	3.0	B	2.3	C	3.0	B
3	4	道の駅等木製看板設置事業	2.7	C	2.7	C	3.0	B	2.7	C

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報:「三重県市町要覧(令和元年度版)」、「平成30年度版森林・林業統計」による

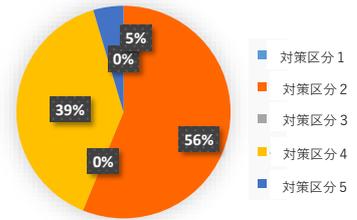
市町名	紀宝町	三重県
人口(人)	10,588	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	11.8%	12.4%
森林面積(ha)	6,073.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	6,027.34	348,833.49
森林率(%)	76.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	7.6	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	生活環境林整備事業	3,598,705	3,598,705		3,598,705				
2	5	クマノザクラ整備事業	291,771	291,695					291,695	
3	4	放課後児童クラブ施設木製品購入事業	2,514,600	2,514,600				2,514,600		
4	2	みえ森と緑の県民税市町交付金積立金	2,842,000	2,842,000						2,842,000
				0						
				0						
				0						
				0						
計			9,247,076	9,247,000	0	3,598,705	0	2,514,600	291,695	2,842,000

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	10.78	5,632,000	5,632,000	間伐事業
流域防災機能強化対策事業	1.95	1,074,700	1,074,100	間伐事業
流域防災機能強化対策事業	14.3	493,900	493,900	測量事業

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	みえ森と緑の県民税市町交付金においては、森林環境護と税を財源とした森林施策とすみ分けをおこないながら、町の森林主要施策としての重要財源と位置づけて活用していく。
事業実施により期待される効果	当町が公益性の判断のもと実施する事業においては、特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に影響を及ぼすものが多く、町民のみならず周辺の県民が恩恵を受けている。
情報発信への取組	各種集客イベントの際、県民税のPRをパネル展やチラシの配布によりおこなっている。登り旗の掲示も行った。その他、町ホームページ、役場庁舎内におけるパネル展の実施など。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・現地の個性を生かした活用がなされています。 ・資料と評価表の順番は揃えてほしい。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	生活環境林整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	5	クマノザクラ整備事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
3	4	放課後児童クラブ施設木製品購入事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B